

特定非営利活動法人  
福山市身体障害者団体連合会

第30号

福山市身連通信

2018 (H. 30) 年 4月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会  
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会  
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

障がい者相談員更新 市身連からの各委員も更新	7
障害者作業所倒産 市営住宅手続き簡素化へ	6
市身連ボウリング大会 文化祭へ写真教室	5
新年度行事紹介	4
新年度行事紹介	3
ハートフル芸術・文化祭	2
ハートフル芸術・文化祭	1

## 福山市身連主催文化行事

# ハートフル芸術・文化祭開催

日時 平成30年2月24日 会場 人権センターホール

今年度も我々市身連に義倉から文化事業・スポーツ振興事業に対し助成をいただき、昨年末のスポーツ事業に続き、今回文化活動として芸術・文化祭を開催しました。

平成二十九年度の連合会行事のなかで最も大きな行事となる芸術・文化祭を今年度最後の行事として二月二十四日開催しました。

二十九年度は当法人理事や身連の役員改選年で、それぞれ変更があり市身連では事務局が交代し年間恒例の行事等の対応がすべてはじめての事で、年度初めから次々と予定されている行事に追われながらになっていったと思われませんが全国・中四国・県大会等関連団体との行事の参加や、スポーツ大会各研修会等の参加、独自の事業の開催等も無事終了出来て、それらの行事のためなかなか日程の取れなかった文化祭の開催日が二転三転しながら当初の日曜日を諦めて土曜日で決定しました。

今年度から各事業の担当を復活させて、文化、スポーツ、相談、広報等の事業担当を協会ごとに分担しましたので、昨年十二月のボウリング大会はスポーツ担当の車いす協会と事務局で当たり、今回の行事は文化関係担当の芦田・難聴協会と事務局が担当して文化祭としての内容を決定しました。

月例の役員会で今年助成いただいた活動について検討し、助成の趣旨に合っていて参加者がしつかりある行事をと意見を出し合ってそれをまとめた案を事務局で作作り十月頃から各協会を通じて参加募集を始めました。

その案のなかで、今誰でもデジタルカメラを持っているので写真教室を講師を依頼して会員がそれぞれ手持ちのカメラを持って、紅葉等の現



地へ集合し、指導を聞きながら撮影し、担当協会ではありませんが園生さんが用紙やプリンタを選んで、額も購入して作品に仕上げ、会場に展示となりました。

いつものことですが、我々は連合会なので、障害に違いがあり十二月のボウリング大会へはろうあ協会から多数の参加がありました。今回は作品展示に一名写真のみ展示で本人参加はなく、その代わり視覚協会からは楽器演奏とカラオケに大勢の参加がありました。

二年前、同じように寒い正月明けの行事では何年に一度の大雪の予報で、前日用意しながらも当日開催できるかどうか分からない状態で大変不安な開催でしたが、今回は天候の心配は全くと言うほどなく、連合会顧問の場県議会議員、法木市議会議員にも参席していただき、直前インフルエンザ等で2・3人欠席となりましたが、六十名を超える参加者とボランティアの人たちに協力いただき、楽しく盛大なイベントにできたと思います。

(次ページに続く)

(芸術・文化祭続き)

当日定刻通り開会し、理事長の開会挨拶後、来賓の的場議員に県会報告を兼ねた挨拶をいただき、続いて法木議員からも挨拶があった。プログラムに入りましたが、両顧問は議会時期ということもあってか行事を見てもらう前に退席されましたので、残念ながら会員の日頃の練習の成果は見てもらえませんでした。

午前中のプログラムは演奏や舞踊となっており、先ず江草氏のハーモニカ演奏から始まって六組の出演で続く石川氏は奥様の遺品にあったオカリナを自分も吹いてみようとして1年程練習したと1曲のみでしたが気持ちの伝わる演奏でしたし、樋口さんのバイオリン、佐藤さんの日本舞踊とただ趣味でと言うのでなく本気で取り組んでいて、特に根本氏の口笛などはすごいなと感じさせられました。大正琴はメンバーの何人かが風邪などで欠場されたようですが、臨時参加の根本氏はともかくしっかり揃った演奏だったようです。



いい素晴らしい演奏などで、楽しい時間を持たせてもらいました。

ちょうど十二時頃にこのプログラムは終了し会議室などで昼食弁当を食べてもらい、その後約30分のビデオ鑑賞で人権学習をしてもらう予定にしておりましたが、用意した機材等が合わず残念ながら十分な事になりませんでした。

会場両サイドにパネルと展示台を置いて会員の写真教室で撮った写真や全国大会の旅行先で撮った写真とか、絵画、編み物、川柳な

どを展示し、台の上には手芸品のカゴとか刺繍作品、木目込人形をかざり参加者に鑑賞してもらいました。

午後からはカラオケ大会となりました。朝からもそうですが、これらの司会はお得意の根本事務局長がすべて取り仕切り二十名ほどの出場者が、それぞれ歌い込んだ曲目をしっかりと発表しみなさんの拍手を受けてこれも予定通り終了しました。

最後のプログラムはお楽しみ袋（この準備も根本氏夫婦で用意）

をかけてのビンゴゲームで、ここからは根本氏に替わり村上がゲーム機を担当し、視覚協会の人たちも一緒に楽しめるようボランティアの方に数字の発表や確認をお願いして、始めました。

ビンゴになった人から景品の袋を自分で選んでもらいますが、この袋は紙の袋中は見えず賞品はほぼ日用品・食品ですとなっていますが、六袋だけ予算が取れた商品券（二千円分）がはいっていますという事で、外から見えない袋に期待して選んでいました。



行事は予定通り進行できていましたが、何人かの人は送迎の時間があつて最後まで居れなく、その人の分だけ袋は残っていました。商品券は全部当選者がいて残っていませんでした。寒い時期の行事で直前風邪の人二人程以外多数の参加者の協力、ボランティアの協力の協力もあつて素晴らしい文化祭になったと大変嬉しく思い、皆様のご協力に感謝いたします。

## 平成30年 年度始め身障関係行事紹介

### その1 第12回広島県障害者陸上競技大会

身体と知的等の障害者合同での大会となって12回になる大会ですが、そのなかで身体障害者の参加に関する事項を抜粋して紹介します。

- 主催 広島県障害者スポーツ協会
- 共催 広島県身体障害者団体連合会 広島県手をつなぐ育成会  
広島県知的障害者福祉協会 広島県福祉事業団 等
- 日時 平成30年5月13日(日) 9:20~16:30  
受付 8:20~9:00 開会式 9:20~9:40  
競技 10:00~16:00 閉会式 16:00~16:30
- 会場 東広島運動公園 陸上競技場(アクアパーク)
- 参加資格 13歳以上で、広島市を除く広島県の障害者手帳保持者  
内部障害者は、ぼうこうまたは直腸障害者とする
- 競技方法 障害区分ごとに行うが、参加者数により他の区分と行う。  
1人2種目出場可能
- 競技規則 日本陸上競技規則に準じ、障害者スポーツ競技規則・申し合わせによる
- 申し込み 選手としての申し込みは4月3日に終了で、応援で参加される場合は福山市身連に申し込めば、バス定員まで受け入れる。
- 競技種目と参加できる障害種別
  - 50・100m 肢体 視覚 聴覚 内部
  - 800・1500m 肢体(上肢) 視覚 聴覚
  - 立ち幅跳び 肢体(上・下肢) 視覚 聴覚
  - 走り幅跳び 肢体(上・下肢) 視覚 聴覚 内部
  - ソフトボール投げ 肢体(下肢・体幹) 視覚 聴覚
  - ジャベリックスロー ソフトと同じ
- その他 この大会成績によって第18回全国障害者スポーツ大会へ選手として選考される参考にされます。(肢体は20以上の区分がある)

## 平成30年度 年度初め身障関係行事紹介

### その2 日本身体障害者福祉大会

例年、日本の各地で開催されている全国大会が今年は群馬県で開催されますが、福山の会員だけでツアーを組むほど参加者はおらず、今年は県身連のツアーで大会に何名か参加します。

#### ぐんま大会要項

- 日程 平成30年6月14日
- 会場 群馬県高崎市 高崎アリーナ
- 参加費 大会会費 2000円 (昼食含まず)

#### 広島県身体障害者団体連合会企画ツアー

- 日程 平成30年6月12日～14日
- 費用 87,500円 (大会会費を含む)
- 申込 2月末で締め切り 30名余申し込み
- 行程

##### 6月12日

福山駅==東京駅==軽井沢駅---旧軽井沢銀座---鬼押出し園

7:43 11:23 13:23 14:00 15:20

---草津温泉泊(中沢ヴィレッジ)

17:00

##### 6月13日

ホテル---草津温泉 湯もみショー---白根山湯釜---浅間観光センター

8:30 9:30 11:10 12:30 昼食

---上田城(真田)---萬里温泉泊(ホテルゴールデンセンチュリー)宴会

14:50 16:50

##### 6月14日

ホテル---高崎アリーナ 全国大会----富岡製糸場---本庄早稲田駅==

8:00 9:10 昼は弁当 13:10 15:30

東京駅===福山駅着

17:50 21:31

福山市身連スポーツ活動

# ボウリング大会 開催

日時 平成29年二月三日(日)  
場所 コロナ キャットボウル

福山市身体障害者団体連合会の事業の一つとして、昨年は障害者もスポーツに親しみ体力アップも考えて、2020年のパラリンピックにも繋がりたいとスポーツ大会を開催しました。

この大会に多数の参加者があって楽しく盛り上がりましたが、このためには各方面の協力を得たり、ボランティアをお願いしなげねばならず毎年は無理と今年のスポーツ事業はボウリング大会の開催と決めました。

事業としてのスポーツ担当協会と事務局が協議して日程や会場の交渉をして、ほかの行事との重なりのない一二月の三日に駅への送迎のあるコロナキャットボウルで開催として、各協会に案内して参加募集をしました。

我々は障害種別も違う連合会で体を使うスポーツではハンデもあって、参加者がどうなるか気になる場所でしたが、視覚協会からもしっかり参加者があり、とくにろうあ協会からは多数の参加申し込みがあって、四〇名の参加者での大会になりました。

会場は飲食物の持ち込みができないことになっており、最初の企画では午前中にして、昼食を考慮していましたが、午後の開始として主に事務局の根本氏が優勝などの賞品や参加賞などを用意して、二ゲームのボウリングをそれぞれのスタイルで楽しんで行いました。手話のボランティア等何人かお願いして参加者は力いっぱいがんばったり、ガツクリ来たりしながらもゲームは予定通り出来て、ミ-

ティング室を借りて表彰を行いました。やはり活動力のいろうあ協会からの受賞者が多く優勝もそうでした。二位までや中間賞、ブービー賞の表彰をして、ほかの人は参加賞を全員もらったので解散となりました。

今年度義倉から支援をいただいた活動のスポーツ事業はしっかり出来ましたので、年明け二月に計画している文化事業にも多数の参加者があつて楽しく出来ることを切望しています。

## 文化祭に向け写真教室 三回

文化祭として企画している行事に会員の趣味や特技の作品も出品して展示し、皆さんに披露しよう

うため事務局や園生氏が協力して絵や手芸品などと一緒に展示する予定です。

人が持っている手持ちのカメラで写真をとって、自分なりの傑作を応募してもらおうと市身連で講師を招いて写真教室を実施しています。第一回は明王院に現地集合で紅葉の写真を撮り、事務所それぞれ作品の出来について話し合い、年末の第二回は動物園に現地集合で開催、それぞれ十名ほどが参加してそれぞれすごい数のシャッターを切ってきたようです。年明け第三回を輛の方で開催して、自慢の一枚を文化祭に出展してもら

園生氏提供 参加者の写真



福山・府中市で

## 障害者就労作業所倒産

### 利用者百名以上解雇

昨年の暮れ近くから毎日のように新聞紙上を賑わして来た障害者関係のニュースで、障害者を雇用している法人が経営が立ちいかなくなり、社員も利用者も全員解雇されて、福山市・府中市で百人以上の障害者が職を失う事態になっています。

この会社は運営のための補助金のあるA型事業所で、福山市に十二程の事業所がありますが、そこで働く人たちの給料は仕事をした利益で支払われるのが原則ですが、ここではそうではないシステムになっていました。

県や市が監督官庁で、指導などもしていき、秋以来危ない状態が取りざたされていたようですが、倒産にまで至るとは予測されていなかったと思われま

我々の連合会も法人化すれば法

人格を認められ行政などから事業を委託される可能性を願って

手間を掛けてNPO法人となりましたが、県身連のように継続的な福祉事業の委託先にはなれず、法人化以来福山市に陳情のように仕事はないでしょうかと、伺ってきましたが、市からは連合会が福祉に役立つ事業を自分たちで企画して、事業所・資金・人材を揃えて申請すればすくにもB型として認めますよと言われていて、一部の理事は連合会の運営費を稼ぐため事業をやるべきと強引に主張していますが、そのためには先ず手持ちの資金では準備の段階で運営費に回す金はなくなり、高齢者団体で人材も外部に求めることになれば、ますます厳しくここまで出来ませんでした。今となっては補助金頼みのような事業を考えること自体やらなくて良かったのではと思われま

今後、県や福山市、ハローワーク等で離職者の就職先を決めて行くことに努力しますと言われているが、筆者の知る限りの知的な利用者も多く、一般の企業に即就職

は厳しい面もあるかと思いい、私たち身体障害者でも健常者以上の能力のある人もいたり千差万別で、今回の人たちにも能力を生かせる職場がありますように。

## 入居手続き簡素化へ 市営住宅

一月十九日 市役所議会棟  
福山市 市営住宅委員会

福山市に市営住宅は約三二〇〇戸あり平成二十九年度は百二十七戸の募集をしています。元々公営住宅の入居条件として配偶者がいて一定の収入で家賃支払いに心配なく、市内に住んでいるか勤務先がある等が最低条件でしたが、現在少子高齢化、結婚の高齢化などでこれまでの規定では、対象にならなかつたり、手続きに日数がかかることがネックになっていて、市ではこれらに対応した簡略化を十九日の市営住宅委員会に提案されました。

が緊急に入居をしないといけない状態の人や、高齢単身者で身内や仕事のない人などにも救済的に対応できるように簡素化と、日程の短縮化をし、障害者関係では障害者手帳1〜6級、知的障害者も連帯保証人を1人でよしとする緩和措置がされています。また精神障害者もそのようになっています。その他、古い住宅の解体、使用されなくなった住宅地の処分等の案件が討議されて、いくつかの質問に答弁があつて、委員会は全提案をもっともな提案として承認し終了しました。

中国新聞にも掲載されています

# 障がい者相談員更新の推薦

## 平成三十年度から二年間

高齢化同様障害者の中でも若くて元気な人は仕事ができればそのこ

私たち障害者の身近な相談相手として市から委任されている、障がい者相談員の任期がこの三月末で終わりますので、三十年代からの相談員の候補を市身連から推薦されるよう福山市から連絡がありました。

毎度のことですが市は連絡する

と即日提出できるかのように短い期日を切ってきますが、連合会の各協会にその地区の相談員候補を決め、その人の承諾印を市内各地区から集めて提出には全く無理で、その上、相談員も前回のときネットワークとなりかけた高齢化があって、

今回はもう引き受けるのは辞退しようと言う人も何人かいて市から指定されて来た人数が揃わない事態となりそうです。

理想的には連合会の会員・役員が若返って代替わりが出来て活動に元気が出てくればこの問題はなくて済むことですが、一般社会の

とで精一杯で、相談員を受ける余裕は時間的にもないと受けてもらえず、結局退職者のな人が主力になり、又そういう人の方が人生経験もあって適任者なのですが、それも長引きますと高齢のための老化や病気も出て、充分役をこなせないと人数減少が起きています。

結局三十名程の推薦者を提出しますので、あまり問題なく委任されるものと思っています。その前に現相談員の今年度の活動報告の提出が義務付けられており全員の報告書が提出されること

が先決です。以前は四月には個人宛に委任状が届いていましたが、最近は六月の研修会で全員の名前を確認するようになっています。

発表があれば市身連通信でも相談員の名前や連絡先を掲載し障害者にわかるようにする予定にしております。

## 市身連からの各委員会委員等の更新

我々の団体は法人格を得るといろいろな面で社会に認められ活動できやすいついと言われ法人化しました。本来事業を決めての法人ですが逆もありかと、法人なので仕事を受けたいと願いましたが現状それは実現出来なく、その代わり法人団体である事のみ尊重されて、市役所・社会福祉協議会・県身連等に団体から委員や評議員を出すようにと言われ、現在約二十程の委員会等に出ています。

そのうち市・社協関係は今年度委員改選が多く改めて適任者を出す委員会がほとんどです。以前事務局では一人がいくつもの委員会に名前を出していたらしく、別の人をと要求があり、そうなる役員関係者はほぼ全員いづれかの委員会等に属している状態です。このため多い人はやむ終えず二、三の委員を兼任して今回の更新にも間に合わせるようになっていきます。

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。